

(資料提供)

月 日(曜日)	担当館名	電話	担当者
6月26日(木)	県立近代美術館	電話 088-668-1088 ファクシミリ 088-668-7198	学芸調査課 安達、吉川、 江川
	文化の森企画広報室		企画交流室 友井

所蔵作品展 徳島のコレクション 2014年度第2期 「特集 気分はリゾート、夏のアート旅！」の開催について

1. 趣旨

所蔵作品展は、当館のコレクションを紹介する展覧会です。その時々テーマを設定した「特集」コーナーと、収集方針に合わせた「20世紀の人間像」、「徳島ゆかりの美術」、「現代版画」のコーナーとで作品を紹介しています。

2014年度第2期(7/12-11/16)の特集コーナーは、「気分はリゾート、夏のアート旅！」と「彫刻の目」の二本立てです。同時開催ではなく、会期の半ば(9/16)での交代で、前半が「気分はリゾート、夏のアート旅！」後半が「彫刻の目」となります。

この資料提供では、前半の特集「気分はリゾート、夏のアート旅！」の会期の展示について、ご案内します。

また、同時期に開催する所蔵作品展「受贈記念 鏑木昌弥の世界」については、別途資料提供を行います。

2. 会期 平成26年7月12日[土]～平成26年9月15日[月・祝]

3. 会場 徳島県立近代美術館

4. 開館時間 午前9時30分～午後5時

5. 休館日 月曜日(7月21日は開館します)、7月22日(火)

6. 観覧料 一般 200円(160円)

高校生・大学生 100円(80円)

小学生・中学生 50円(40円)

高齢者(65歳以上)、障がい者とその介助者1名は無料

※()内は20名以上の団体料金です。

※その他無料日があります。

・小学生、中学生、高校生は、土・日・祝日、振替休日、冬休み期間は、無料となります。

・大学生、一般は、祝日、振替休日は無料となります

※7月19日[土]～8月31日[日]は、「家族でおでかけ・節電キャンペーン」により、全ての方が無料となります。

7. 内容

【特集 気分はリゾート、夏のアート旅！】

会場：展示室1(他にロビー、屋外展示場の展示作品にも対象となるものがあります)

出品点数：全37点 8月11日に一部展示替えを行います。全期間展示が21点、前半(7/12～8/10)のみが8点、後半(8/12～9/15)のみが8点です。

内容： さあ、待ちに待った夏休み！今年の夏は、美術館でアートの旅はいかがでしょう？

この特集ではアーティストの生まれ育った出身地や、作品のモチーフとなった場所に注目して作品を見ていきましょう。フランス、アメリカ、地中海、アジア、そして京都や神戸……。この旅には、重いスーツケースも、パスポートや語学力も必要ありません。持ち物は、あなたの想像力だけ。お国柄の違いを考えたり、その場所の空気感やにおいなどもイメージして、あなただけの夏の旅を見つけてみましょう。

【20世紀の人間像】

会場：展示室 1

出品点数：14点

内容：このコーナーでは、収集の柱の一つ「20世紀の人間像」で収集された作品を順次展示替えをしながらご紹介しています。定番のクレーやピカソの作品のほか、微妙な平和感を漂わせる香月泰男の作品〈人と箱〉を始め、戦後10年くらいの間に描かれた作品をご覧ください。

また、第2期の会期中に、文化の森で「四国へんろ展」が開催されるのにちなんで、小コーナー「巡礼・彷徨」を設けます。四国遍路に直接的に関係するものではありませんが、宗教画をイメージに取り入れたマイク&ダグ・スターンの〈ゴシック(合板)〉と巡礼者を題名に含む奈良美智の〈The Little Pilgrims(Night Walking)〉(小さな巡礼者)を展示します。

【現代版画】

■ 斎藤カオル

会期：7月12日[土]～8月10日[日]

出品点数：23点

■ 小作青史

会期：8月12日[火]～9月7日[日]

出品点数：13点

会場：展示室 1

内容：2014年度第2期では、異なる技法を用いている4人の作家を個展形式で紹介します。まずは前半の2人です。

斎藤カオル(1931-)は、メゾチントやカラー・メゾチント(いずれも銅版)を用いている作家です。メゾチント特有の黒色の濃淡表現の中に浮かび上がる女性像が印象的です。

小作青史(1936-)は、主にリトグラフを用いている作家です。エッチングやアクアチント(いずれも銅版)、木版を用いることもあります。下絵のイメージをそのまま版にするのではなく、版をつくりながらイメージを発展させる方法を特徴としています。人物などの形態を自由に組み合わせて、幻想的な作品を生み出しています。

【徳島ゆかりの美術】

会場：展示室 2

出品点数：39点 9月8日(月)に一部展示替えを行います。全期間展示が33点、前半(7/12～9/7)のみが3点、後半(9/9～11/16)のみが3点です。

内容：展示室の前半には、果物や花など卓上の静物が描かれた作品を展示します。清原重以知(阿南市出身、1888-1971年)の細密な描写、伊原宇三郎(徳島市出身、1894-1976年)のキュビズム的な構成、島あふひ(小松島市出身、1896-1988年)の重厚なマチエールなど、様々な表れをお楽しみ下さい。

展示室の後半は、小コーナー「山下菊二の戦争体験」となります。先の大戦の

時代、山下菊二は2度召集を受けました。最初に従軍した中国南部の戦線では、筆舌に尽くしがたい残虐行為を目撃し、自らも加担することを余儀なくされたといいます。戦後もそのことが、心のわだかまりとなっていた山下は、自らの戦争体験を問い続け、やがて戦争や差別など、さまざまな人権侵害の問題を世の中に訴えかけることを、制作の課題としていきました。戦中戦後の作品や遺品をもとに、彼の思索の過程をたどります。

また、佐野比呂志（板野郡出身 1919-2013年）の作品2点を展示します。

○このほかに、美術館ロビー、屋外展示場、彫刻の小径に13点を展示します。

○作品保護のため、一部の作品は展示替えを行います。

○展示作品の合計は、56作家による131点となる予定です。

・都合により内容が変更になる場合もあります。

8. 関連事業

【ギャラリートーク この1点「香月泰男 なにを思う」】

日時：7月21日(月・祝) 午後2時～2時45分

場所：展示室1

内容：学芸員が香月泰男作の〈人と箱〉を中心に「20世紀の人間像」コーナーの展示解説を行います。

料金：無料（祝日、「家族でおでかけ・節電キャンペーン」実施期間中）

申込：不要

【ギャラリートーク この1点「画家と戦争体験 山下菊二」】

日時：8月17日(日) 午後2時～2時45分

場所：展示室2

内容：学芸員が小コーナー「山下菊二の戦争体験」について展示解説を行います。

料金：無料（「家族でおでかけ・節電キャンペーン」実施期間中）

申込：不要

【こども鑑賞クラブ】

日時：8月2日(土) 午後2時～2時45分

場所：展覧会場

講師：学芸員他

対象：小学生（保護者同伴可）

料金：無料（「家族でおでかけ・節電キャンペーン」実施期間中）

申込：不要

【広報用画像の提供について】

展覧会の広報用として、次の作品の画像を提供できます。

必要な場合はご連絡ください。

提供方法は、画像データの提供となります。

使用に当たって、作者名、作品名、徳島県立近代美術館所蔵の旨は、必ず表示してください。

●平面作品



作者名 広島晃甫
作品名 〈佛國ビルフランス小港〉
制作年 1930年代
技法材料 紙本着色

※ 8月10日まで展示